

島根県消防学校だより vol.2

初任科第53期生です



～「不撓不屈」の精神～

私たちが消防学校に入校してから3ヶ月が経ちました。毎日の訓練が初めての事ばかりで苦しい思いもしてきましたが、その度に今期のスローガンでもある「不撓不屈」の精神で乗り越えてきました。「不撓不屈」という言葉には、厳しい環境にも強い意志を立ち向かうという意味があり、今の私たちにとって必要な言葉であると思い、皆で話し合いスローガンに選びました。この3ヶ月で心身ともに成長していると思いますが、まだ消防士としては未熟者です。残り3ヶ月、今まで以上に努力し、全員が一人前になれるように助け合いながら頑張りたいと思います。教官、先輩職員の皆様よろしくお願ひします。(総代 出雲消防 池西雄一)

～訓練も日に日に本格的～



初任科生が43名いますので、屋外での訓練は「器具取扱い訓練」と「放水訓練」の2班に分かれて実施しています。消防士にとって、管そうから水を出したときのグッとくる重みは忘れることのない瞬間です。放水活動とポンプ運用は消防の基礎ですから、身体で覚えるまで徹底的に叩き込みます。

三連梯子の機器取扱い訓練は、次の「応急梯子救出訓練」へと繋げていきます。まだまだ三連梯子の操作もおぼつかない状況ですが、卒業までにはしっかり仕上げていきます。常に安全管理を意識しながら、隊員同士が連携を図り、大きな声で「はしご架梯よし！」



～「ポンプ操法」やってます～



「ポンプ操法」には、送水・吸水・ホース延長の基本操作から厳格な規律動作まで、消防の基本エッセンスが沢山詰まっていますので、初任科生にはとても大切な消防のイロハ教育です。今年の夏は梅雨明けも早く、7月は既に猛暑ですが、暑さにも負けることなく一生懸命やっております。今年度は、特に先輩職員による「操法教育支援スタッフ」のお力も借り、初任学生の仕上がりは、とても良い感じになってきております。ご支援ご協力いただきましたスタッフの皆様“本当にありがとうございます！”来る8月4日の「島根県ポンプ操法大会」(江津市)では、アトラクションとして学生による操法を展示する予定ですので、応援よろしくお願ひします。

とても心地いい汗をかきました！

5月24日 スポーツトレーナー田中禎子講師をお招きし、「トレーニング法理論と実技」ということで、3時間の講義と実技指導をしていただきました。田中講師には、もう10年以上にわたり消防学校でトレーニング指導をお世話頂いておりますので、ご存知の方も沢山いらっしゃるのではないかと思います。今回は、特に体幹トレーニングということで、ケガの予防や疲れにくい身体など、初任学生に必要な基礎体力づくりをする上でポイントを実技運動と共に指導していただきました。パワフルな講師の動きに、若さが取り柄の学生達もタジタジでした。田中講師と音楽に合わせての動きは、とても“キビキビ”して楽しそうなのに、なぜ教官の掛け声に合わせて動くときは、“ビクビク”して辛そうなのは何故でしょうか…。最後は全員が汗をびしょりかき、満面の笑顔で締めくくりました。

この授業の様子を田中講師のブログ（ホームページ：T2style.jp の「teikono のブログ」）で、「イケメン消防士さんに囲まれて！！」というお題でご紹介いただいておりますので、ご覧ください。



BD-I 消防ポンプ車を更新します



今年度 消防学校の訓練車両を更新します。多くの卒業生と共に歩んできた BD-I 型消防ポンプ車（昭和58年製 日産サファリ）も31年が経過し、いよいよ更新することになりました。昭和生まれで懐かしのボンネットタイプ。もちろんドアもありませんし、真空ポンプは手動レバー式で真空オイルはお構いなしの垂れ流しタイプ。そのノスタルジックなスタイルはファンも多かったのではないかと思います。消防車でありながら、火災に1度も出動することもなく、ひたすら若き消防士のたまごを育てることに徹してくれました。本当にお疲れ様！ 新車両のCD-I 型消防ポンプ車は、来年3月ごろの納車予定です。

スーパー体力錬成 ～伴走者を募集します！～

残暑厳しい中、宍道湖を1周する「スーパー体力錬成」。初任教育の集大成行事として定着しておりますが、今年も43名の初任科生が、9月13日（金）消防学校をスタート致します（出発時間は調整中）。そこで各消防本部の皆様へ、初任科生への叱咤激励と自らの体力向上を兼ねていただくという目的のもと、スーパー体力錬成の「伴走者」を募集させていただきます。初任の頃を思い出していただきながら、宍道湖畔を駆け（歩き）抜けてみませんか？ 多数の皆様のご参加お待ちしております。（担当：伊藤教官）



編集後記（事務局より）

戦国武将である甲斐の武田信玄公曰く「人は石垣、人は城」とありますが、天然資源に乏しい我が国においては、まさに人材が資源であります。そういう意味では優れて人づくり、即ち、人材育成が我が国の将来を決するものと言えるでしょう。我が国における一昨年の3.11震災、原子力災害や、かつての地下鉄サリン事件のようなNBCテロなど、複雑・多様化する現代社会においては、危機管理の第一線で活躍する消防職員に対する県民の期待は、増大することはあっても減少することはないでしょう。4月の入校時には、まだ初々しかった初任科の学生たちも、日々知識と技術の習得に励み、教官のもと消防職員としての自覚も確かなものとなってきております。本県における人づくりの第一線にある消防学校へのご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

島根県消防学校

〒690-0046 島根県松江市乃木福富町735-157

E-mail: syobogako@pref.shimane.lg.jp

Tel: 0852-22-0166